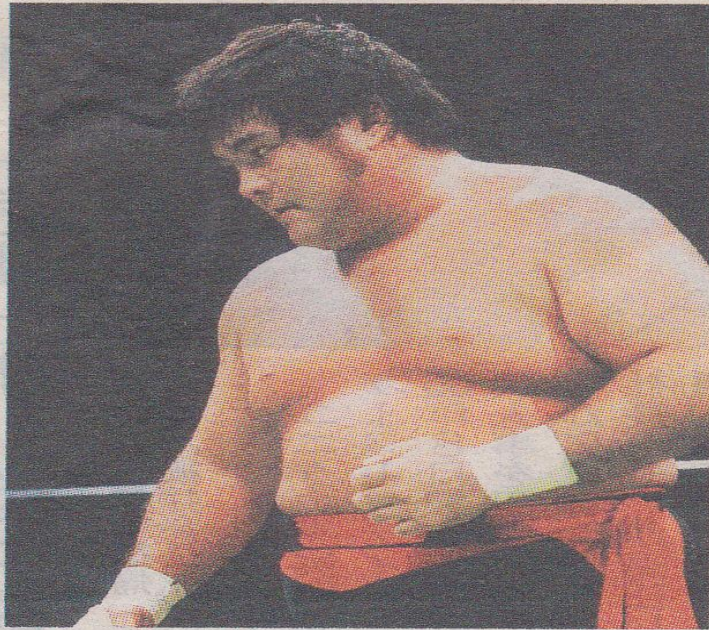


破壊王

橋本真也の命奪った脳幹出血の恐怖

人気プロレスラー橋本真也さんの急死は、フアンならずとも衝撃だった。きのう（11日）午前、自宅で倒れ、救急車で搬送されたが、すでに心肺停止状態。死因は脳幹出血だった。享年40。

病魔には勝てなかった



常なし。この秋のリング復帰を目指し、精力的にリハビリをこなしていたという。私生活では今年3月に離婚。最近是不整脈が出たり、億単位とされる借金問題で悩むこともあったらしいが、40歳の死は早すぎる。

実は同世代のサラリーマンにとって、橋本さんの急死は切実な問題であ

40代サラリーマンは要注意

る。「くどろちあき脳神経外科クリニック」院長の工藤千秋氏がこう言う。「脳幹出血は30、40代の若い世代でも十分起こる可能性があります。生活習慣病の人、とりわけ高血圧症の人が危ない。脳幹出血は脳内出血の症例の1、2割程度ですが、劇症型でアツという間に心臓や呼吸を停止状態にし、死に至らしめる。橋本さんは中性脂肪がたまるなどして心臓に負担がかかっていたそうです。さらに高血圧だったので、生活習慣病をないがしろにする、屈強な肉体の男でも一発で命を落とす危険があるのです」

40歳は生活習慣病が身体をむしばみ始める分岐点だとか。橋本さんは肉体を鍛えていたが、一瞬で命を奪われた。不摂生の上に運動不足のサラリーマンはもっとヤバイと知っておくべきだ。